

教員養成に対する理念・構想

教員は公共性の高い専門職である。公共性とは、すべての子どもの人格の発達に関わり、共同社会の構築、文化の継承、文化の創造に貢献することである。こうした公共性の高い専門性を実効的なものとするために、教員は最高水準を求める努力が必要である。専門職としての自覚に基づき最高水準を求め不断の努力を実行する教員を養成することが、大学における教員養成の理念である。これは、「自由と責任を重んじ、学問を通して知識技術を磨き、健康を増進し、特に品性を高め、正しい歴史観と人生観を培い、世界から信頼される日本人を育成する場である」とする本学の立学の精神に合致するものであり、それを具体化するものである。